

地域連携・社会貢献活動報告ノート

2024年度



重要文化財「旧島津家本邸」の見学ツアーで学生ガイドの説明に聞き入る参加者

2024 年度清泉女子大学

地域連携・社会貢献活動報告ノートについて

清泉女子大学 地域連携推進本部

清泉女子大学は、スペインで誕生した聖心侍女修道会によって1950年に設立されたカトリック女子大学であり、「キリスト教ヒューマニズム」を建学の精神として掲げ、「まことの知・まことの愛」の追究をモットーとしています。そして、この建学の精神に基づき、少人数教育による人格的ふれ合いを通して、自分自身で深く考え、判断し、決断することのできる女性を育成するとともに、自国の文化と異文化を理解し、地球市民として共に生きる姿勢を育むことを大学の理念としています。

本学では、社会貢献活動を教育方針を実践する重要な取り組みと位置づけ、従来から生涯教育、ボランティア活動、産学官連携、国際交流等を軸とした地域連携を積極的に推進してきました。2024年度も、品川区との包括協定に基づく「子ども若者応援フリースペース」での学生による支援活動や、「エコルフェス」での環境ワークショップの実施、産学官連携フォーラムへの学生登壇といった地域との協働を展開しました。また、一般社団法人大崎エリアマネジメントとの連携協定を締結し、「女性リーダー探訪」や「目黒川夢まつり」でのプロジェクションマッピング制作など、学生が地域の魅力を発信する機会も増えました。

この活動報告は、2024年度に実施した主な地域連携・社会貢献活動についてとりまとめたものです。ぜひご一読いただき、本学の係る活動に対する皆様のご理解を深めていただければ幸いです。末筆ながら、これらの活動を通じて、本学に実践的な学びの機会を提供してくださっている関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。引き続き、清泉女子大学の地域連携活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

目次

社会貢献(生涯学習・講演会等)	4P
品川区共催「第42回土曜自由大学」	
社会貢献(地域活性化)	4P
群馬県沼田市にて地球市民学科と文化史学科生が「沼田“大正ロマンエリア”ガイドブック」製作	
社会貢献(教育・福祉)	4P
子ども若者応援フリースペース支援／地球市民学科が大学生と高校生が探究学習に取り組む「一日探究セミナー」を実施／聖園・女学院中学校・高等学校(神奈川県)に対して「MISONO 竹林プロジェクト」の企画を提案／環境イベント「エコルフェス」で「おやさいクレヨン」ワークショップを実施／日野学園の1・2年生の自然観察受け入れ／「立正大学図書館学生スタッフ「りぶたま」との交流／中学生の職場／児童養護施設「聖フランシスコ子供寮」での絵本の読み聞かせボランティア／体験福祉工房しながわ パン工房しなふくプチレーブ」による学内販売	
社会貢献(国際交流・国際貢献)	6P
国際協力機構(JICA)との連携派遣覚書を締結／かわいい日本語サロン／フランスの大学・大学院生と国際交流ボランティアスタッフの文化交流会／シリア難民女性支援を行う「イブラ・ワ・ハイト清泉ガールズ」／フェアトレードコーヒーの販売(東ティモール)／東ティモール支援のための絵本「ワニとカメ」作成／「Many faces of Alice and Moomins アリスとムーミンの多彩な顔」を開催	
社会貢献(その他)	7P
旧島津家本邸の一般向け見学ツアーの実施／ENEOSホールディングス、ポマト・プロおよび樹木・環境ネットワーク協会と「緑化活動等実施に係る協定書」に基づきキャンパス内で緑化整備活動を展開	
地域連携(品川)	8P
区内大学等パートナーシップ協議会への参画／しながわ大学連携推進協議会への参画／一般社団法人大崎エリアマネジメントとの連携協定の締結／まちづくり情報誌『新鮮大崎』で「清泉女子大生による女性リーダー探訪 in 大崎」の連載を開始／「目黒川夢まつり」でゼミ生が制作したプロジェクションマッピングが映出／雉子神社例大祭／大崎警察署交通安全イベント／五反田駅前帰宅困難者対策協議会の活動	
地域連携(鹿児島県)	9P
鹿児島県との清泉祭での取り組み	

目次

地域連携(鹿児島市).....	9P
鹿児島市のイベントでふるさと納税返礼品のプロモーションを実施	
地域連携(桑名市).....	10P
桑名市との連携協定の締結	
地域連携(その他).....	10P
高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部と大学間包括協定を締結／社会活動への現場訪問および関係者インタビューの実施	
産学官連携.....	10P
福がーる／瀬戸内カレッジ／アクセント株式会社と連携した「インクルージョン&ダイバーシティ学習プログラム」を実施／たんぱく質の重要性を伝えるメニューの開発、提供／「つくば魅力発信プロジェクト」でホテル日航つくばと連携／博報堂キャリアジョ研プラスにアンコンシャスバイアスに関するメディア企画を発表／学生が品川区産学官連携フォーラムに登壇	

ページの読み方

テキストで青字になっている見出しや単語にはリンクが貼られており、クリックすると詳細な情報を掲載したページにとぶことができます。

社会貢献(生涯学習・講演会等)

[品川区共催「第42回土曜自由大学」](#)

【報告部署】[人文科学研究所、キリスト教文化研究所](#)

・人文科学研究所、キリスト教文化研究所と品川区が共催で、春は5月、秋は10月の土曜日に無料の公開講座を実施。人文化学研修所は同講座(春のコース)にて5月11日及び同月25日、全2回対面で開催。昨年度の第41回開催時に増やした定員150名として募集した。品川区への応募総数は168名で定員150名を超えたが、品川区の同意を得て抽選せずに申込者全員の受講を認めた。両日の受講者数は、5月11日が139名、5月25日が99名の計238名となった。また、キリスト教文化研究所は、同講座(秋のコース)を担当し、10月5日、10月12日に各2回、本学2号館4階240教室で開催した。2024年度は総合テーマを「境界 ボーダー」とし、各分野の講師陣によりそれぞれの視点からお話しいただき、延べ167名の受講生にお越しいただいた。

社会貢献(地域活性化)

[地球市民学科と文化史学科の学生が「沼田“大正ロマンエリア”ガイドブック」を製作](#)

【指導教員】[安齋徹教授](#)、[木川弘美教授](#)(共同指導)

・2021年度から毎年「東京の女子大学生が見つけた沼田魅力発信プロジェクト」に取り組んできたが、今年度は学科を超えた本格的な協働プロジェクトを立ち上げ、地球市民学科の企画PR力と文化史学科の歴史探究力を合わせて若者目線のガイドブックを製作した。

[\(参考\)沼田市観光協会と連携し「沼田×女子大生プロジェクト」を実施\(2021.12.14\)](#)

[\(参考\)地球市民学科の学生が「東京の女子大生が見つけた沼田魅力発信プロジェクト」を実施\(2022.11.16\)](#)

社会貢献(教育・福祉)

[子ども若者応援フリースペース支援](#)

【指導教員】[鈴木直喜教授](#)

・品川区の子ども若者応援フリースペースに関わり、各学生は毎週1回数時間ピアスタッフとして、スタッフのサポートや利用者との交流をしつつ、各学生がフリースペース責任者と相談をしながら、ワークショップ等のプロジェクトを実施した。

[地球市民学科が大学生と高校生が探究学習に取り組む「一日探究セミナー」を実施](#)

【報告部署】[地球市民学科](#)

神田女学園高等学校、関東国際高等学校、トキワ松学園高等学校の生徒と「まちづくりについて考えてみよう!」をテーマに大崎の街をめぐり「良い街とは何か?」という探究学習に取り組んだ。

聖園女学院中学校・高等学校（神奈川県）に対して「MISONO 竹林プロジェクト」の企画を提案

【報告部署】地球市民学科

・生徒が社会と関わりながら活動する機会を創出したいという学校側の要望を踏まえ、同校が始めた「竹炭作り」を通して短期的、中期的、長期的に取り組むことができる多種多様な施策を提言した。

品川区の環境イベント「エコルフェス」で「おやさいクレヨン」ワークショップを実施

【指導教員】安齋徹教授

・環境イベント「エコルフェス -2024 SPRING-」（主催：品川区立環境学習交流施設エコルとごし）で、ゼミ生と有志の学生が、野菜など安心して安全な素材、自然な色にこだわった「おやさいクレヨン」を使用した子供向けワークショップを実施した。

日野学園の1・2年生の自然観察受け入れ

【報告部署】学長室

・2023年度より、コロナ禍に中断されていた日野学園の1・2年生の奥庭観察・スケッチ会の受け入れを再開、継続している。都会で自然に触れ合う機会が少ない児童たちに、本学の奥庭や中庭の動植物と触れ合ってもらう機会提供となっている。

立正大学図書館学生スタッフ「りぶたま」との交流

【報告部署】図書館

・6月にライブラリーサポーターズが立正大学を訪問し、出版社による出版業界の現状や仕事についての講演を聴講した後、立正大学図書館学生スタッフ「りぶたま」と講演者と一緒に、出版業界が抱える課題の解決策を考えた。

8月にはライブラリーサポーターズと「りぶたま」が、品川区立図書館主催の「子ども読書活動推進計画」に関するワークショップに参加し、中高生の読書を推進するためにできることを提案した。

中学生の職場体験

【報告部署】図書館

・9月24日～25日の2日間にわたり、品川区立八潮学園の職場体験を実施した。1日目は館内ツアー、図書館の蔵書検索、各自が持参した図書のPOP作り、2日目は資料の排架、貸出・返却などの業務を体験した。

生徒たちは図書館で働くことを通じて、社会人としてのマナーやルール、働くことの意義を学んだ。

児童養護施設「聖フランシスコ子供寮」での絵本の読み聞かせボランティア

【報告部署】ラファエラ・マリアセンター

・シリアカトリック系の児童養護施設での活動を通して、子供たちを取り巻く社会問題への気づきやキリスト教精神に基づいた活動を行っている。特に絵本の読み聞かせにより、絆を深めながらかかわっている。

「福祉工房しながわ パン工房しなふくプチレーブ」による学内販売

【報告部署】[ラファエラ・マリアセンター](#)

・障がい者の自立支援を目的とした「福祉工房しながわ、パン工房しなふくプチレーブ」によるパンの学内販売を通じて活動の支援を行うとともに、学生達が日常の中で障がいのある方たちとの交流の場を持つことによる相互理解の促進と共生社会の実現を目指している(不定期)。

社会貢献(国際交流・国際貢献)

[国際協力機構\(JICA\)との連携派遣覚書を締結](#)

【報告部署】学長室

・2023年度3月末に、国際協力機構とJICA海外協力隊派遣にかかる覚書を女子大として初めて締結した。これにより、本学在学中の地球市民学科生が国費による海外協力隊短期派遣に参加することが可能になった。

[かわいい日本語サロン\(※清泉 PBL\)](#)

【報告部署】[教育・学修支援センター](#)

・かわいい日本語サロンは、品川区在住の日本語学習者を対象に地域日本語サロンの運営・開催を行っている。今年度はオンライン会議ツールを使用してのサロン開催を4回、対面でのサロン開催を4回と、合計で8回のサロンを実施した。品川区役所総務部総務課平和・国際担当や公益財団法人品川区国際交流協会、NPO法人IWC国際市民の会などの学外団体と連携し、日本語学習者へのサロン開催の周知と参加の呼びかけを行った。

※[課外活動における取り組み「清泉 PBL」](#)

清泉 PBLとは文学部での学びと社会を接続することを目的とした、全学科・全学年を対象とした正課外での学習活動。特に清泉 PBL では、(1)大学の学びで得た知識・技術の実践(2)学科・学年を超えた学びのコミュニティ形成(3)情報リテラシーや情報コミュニケーションの実践を重視している。

[フランスの大学・大学院生と国際交流ボランティアスタッフの文化交流会](#)

【報告部署】[国際交流センター](#)

・2024年7月9日(火)、品川区のNPO法人IWC国際市民の会を通じて紹介されたフランスの大学・大学院生16名と清泉アミーガス(国際交流ボランティアスタッフ)14名が文化交流会を行った。今回は日本文化体験「いろいろな形のことを風呂敷で包む」をテーマにした。品川区のNPO法人IWC国際市民の会との連携は2016年から継続して行っている。

シリア難民女性支援を行う「イブラ・ワ・ハイト清泉ガールズ」

【報告部署】[ラファエラ・マリアセンター](#)

・シリア難民女性の刺繍や小物の商品開発・販売する活動を通して多文化共生社会がどのように実現できるかを考える契機として活動を実施している。年2回の学園祭を中心に商品販売をすることで、現地女性の活動を援助している。

フェアトレードコーヒーの販売（東ティモール）

【報告部署】[ラファエラ・マリアセンター](#)

・ラファエラ・マリアセンターでは、大学の設立母体である聖心侍女修道会のシスター達にご指導をいただきながら、フェアトレードコーヒーの販売活動を通じて、東ティモールの文化や歴史に対する理解を深め交流の促進を図り、OGによる東ティモール募金にも協力している。学園祭時等に東ティモールのフェアトレードコーヒーの販売を行うなど、啓蒙にも努めている。

[東ティモール支援のための絵本「ワニとカメ」作成](#)

【報告部署】[ラファエラ・マリアセンター](#)

・東ティモールを支援する特定非営利活動法人 NAROMAN の、雨水活用を促進する取り組み推進の一環として依頼を受け、学生が現地の映像をもとに作成した絵本が製本化された。発行された絵本は駐日東ティモール民主共和国大使館に贈呈の運びとなった。

[「Many faces of Alice and Moomins アリスとムーミンの多彩な顔」を開催](#)

【報告部署】[言語教育研究所](#)

・11月3日（日）「Many faces of Alice and Moomins アリスとムーミンの多彩な顔」を本学にて開催した。このイベントは、フィンランドの絵本作家・翻訳家/ヘルシンキ大学等名誉教授 Riitta Oittinen 先生をお迎えして実施したもの。参加者は、56名にのぼり、30%以上が高校生であった。今回のイベントでは、ササキアンナ専任講師が通訳を務め、Oittinen 先生よりアリスに対する考え方や世界観の説明がなされ、言語による視覚・聴覚の表現を大切にしながら、原作以上の表現を可能にする Oittinen 先生を垣間見ることができた。またワークショップでは、参加者が想像するムーミンのイラストを自由に描くコーナーも設けた。今後も、言語教育研究に携わる専門家のみならず、広く一般に言語教育研究に関する知見を共有できるフォーラムやイベントを開催する予定である。

社会貢献（その他）

[旧島津家本邸の一般向け見学ツアーの実施](#)

【報告部署】学長室

・コロナ禍に中断していた、旧島津家本邸見学ツアーを2024年度も開催継続。抽選で希望者の約半数の落選者が出てしまうほど応募が集まり、多くの見学希望者を受け入れた（年間の参加者総数は約1100名）。ツアーガイド学生対象の学内研修会等も開催し、ガイド活動を続けている学生の案内スキルも目に見えて向上してきている。

[ENEOSホールディングス、ポマト・プロおよび樹木・環境ネットワーク協会と「緑化活動等実施に係る協定書」に基づきキャンパス内で緑化整備活動を展開](#)

【報告部署】学長室

・本学奥庭を活用した緑化活動等を実施することにより、環境保全活動が身近で、日常の一部となる社会の実現に貢献するとともに、地域社会との交流を図ることにより地域の発展に寄与することを目的として、ENEOSおよび協力会社・団体である株式会社ポマト・プロ、特定非

営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会と本学の四者間で、緑化活動等実施に関する協定を2023年度に締結。2024年度は外部参加者を招いての、自然に親しみ学ぶイベントを本学にて2回開催したほか、定期的な奥庭の整備活動等を受け入れている。

地域連携（品川）

区内大学等パートナーシップ協議会への参画

【報告部署】学長室

・品川区文化スポーツ振興部文化観光課生涯学習係の開催する『区内大学等パートナーシップ協議会』に出席し、本学の生涯学習事業は休止状態の中、品川区の生涯学習事業関連の情報交換の場を維持している。また、各大学が提供するオープンカレッジ「パートナーシップ講座」として、本学からは、土曜自由大学、および地球市民学科の「地球市民セミナー」（前期・後期）を開催・公開しているほか、品川シルバー大学の講師派遣の依頼にも応じており、2024年度は文化史学科の桃井治郎教授と井上まどか准教授が講座を担当した。

しながわ大学連携推進協議会への参画

【報告部署】学長室

・『しながわ大学連携推進協議会』が毎年発行している『品川区と大学との連携推進』のパンフレットの作成に際し、2022年度に再開し2024年度も継続実施した本館見学ツアーの実施内容について紹介を行った。

一般社団法人大崎エリアマネージメントとの連携協定の締結

【報告部署】学長室

・地球市民学科安斎徹教授のゼミを中心に、昨年度より学生が地元大崎の魅力発信を共に行う機会をいただいていた、一般社団法人大崎エリアマネージメントとの連携協定書を、2月に締結した。今後も引き続き、学生のさまざまな活動機会をご提供いただく関係継続が期待できる。

まちづくり情報誌『新鮮大崎』で「清泉女子大生による女性リーダー探訪 in 大崎」の連載を開始

【指導教授】安斎徹教授

・一般社団法人大崎エリアマネージメントが発行するまちづくり情報誌『新鮮大崎』で「清泉女子大生による女性リーダー探訪 in 大崎」という連載を始め、女性リーダーがいきいきと働く姿を発信した。

「目黒川夢まつり」でゼミ生が制作したプロジェクションマッピングが映出

【指導教授】安斎徹教授

・「目黒川夢まつり」（主催：一般社団法人大崎エリアマネージメント）でゼミ生が製作したプロジェクションマッピングが目黒川の護岸に映し出され、会場を盛り上げた。

雉子神社例大祭

【報告部署】学生課

・品川区の雉子神社例大祭が10月に開催され、課外活動団体が参加し、地域の方々と親睦を深めた。

大崎警察署交通安全イベント

【報告部署】学生課

・9月に開催される大崎警察署主催の地域交通安全イベントに、管弦楽部とフォルクローレサークルの学生が参加して地域交流を深めた。

五反田駅前帰宅困難者対策協議会※の活動

【報告部署】管理課

・管理課は、民間事業者、商店会、交通・インフラ、行政等の団体で構成される「五反田駅前帰宅困難者対策協議会」の活動に加わっている。今年度、同協議会は、11月に活動備品搬出、活動拠点の立ち上げまでの訓練および情報共有方法の確認訓練を実施。また、9月から11月にかけておこなわれた協議会（訓練）にて、滞留者支援ルールの習熟を目的とした、書面による問題演習など事前学習訓練および実動訓練に参加した。

※「五反田駅前帰宅困難者対策協議会」

大規模地震等の影響により行き場を失った滞留者・帰宅困難者、徒歩帰宅困難者が幹線道路や駅周辺に押し寄せ、人命救助の妨げや、群衆なだれ等の二次被害の発生を防ぐことを目的として、2018年度に設立された協議会で、区及び各会員が協力・連携し、駅周辺の混乱防止・安全確保に向けた活動を行っている。構成員は、五反田駅周辺の民間事業者、商店会、交通・インフラ、行政等30団体48人からなり、本学代表者は副会長職を務め、協議会運営にあたっている。

地域連携（鹿児島県）

清泉祭との取り組み

【報告部署】学生課

・本学と鹿児島県は、2018年3月に包括連携協定を締結しており、ガーデンパーティーや清泉祭での連携企画として、鹿児島県の物産品販売や観光情報コーナー、学生の代表「リリオス」のメンバーが鹿児島県の本場大島紬を試着体験し、大島紬と県について学び、鹿児島県のPR活動に努めている。

地域連携（鹿児島市）

[鹿児島市のイベントでふるさと納税返礼品のプロモーションを実施](#)

【指導教員】安齋徹教授

・鹿児島市東京事務所とのプロジェクトの一環として、鹿児島市の魅力を伝えるイベント「鹿児島バル in TOKYO」の中で、リンゴの蜂蜜酒や黒豚しゃぶしゃぶなどのふるさと納税返礼品の

プロモーションを行ったり、学生が実際に鹿児島市を訪ね、同市の魅力を伝える動画を制作、イベント当日に放映がされた。

[\(参考\)鹿児島市のプロモーション事業で学生のアイデアが商品化\(2023.10.18\)](#)

[\(参考\)鹿児島市のイベントでふるさと納税返礼品のプロモーション\(2023.11.25\)](#)

地域連携(桑名市)

[桑名市との連携協定の締結](#)

【報告部署】学長室

・6月3日、コンドル建築を有する三重県桑名市と、ジョサイア・コンドルに関する学術的研究や顕彰、地域社会の発展と人材の育成を目的として、相互の連携・協力に関する協定を締結。地球市民学科の兼清慎一教授および文化史学科の木川弘美教授のゼミ生が桑名市を訪問し、歴史や文化、コンドル建築「六華宛」等に関して学ぶ機会をいただいた。

地域連携(その他)

[高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部と大学間包括協定を締結](#)

【報告部署】学長室

それぞれの歴史や特色の違いを掛け合わせることで、地域や教育の垣根を超えて新しい発見や体験の幅を広げていくことを目的として大学間包括協定を締結した。主な連携・協力事項は次の通り。(1) 教育研究の連携に関する事項／(2) 学生の研修及び交流に関する事項／(3) 教職員の研修(FD・SD等)及び交流に関する事項／(4) 単位互換及び遠隔講義等に関する事項(5) 大学間の交流、学術交流及び共同教育研究課程の設置に関する事項(6) 施設設備の共同利用に関する事項(7) 共同の公開講座の実施に関する事項(8) 地域社会への貢献の推進に関する事項(9) 教育・文化の振興、生涯学習の推進に関する事項(10) その他目的を達成するために必要な事項に関する事項

[社会活動への現場訪問および関係者インタビューの実施](#)

【指導学科】[地球市民学科](#)

・地球市民学科の1年次必修授業「個人プロジェクト1」(指導教員:兼清慎一教授)、「個人プロジェクト2」(指導教員:内藤徹非常勤講師・青木美由紀非常勤講師)および3年次必修授業「研究プロジェクト1」(指導教員:兼清慎一教授)において、社会活動を行う現場訪問のための準備を行い、実際に現場の視察と関係者へのインタビューを行い、その結果を授業内で報告した。

産学官連携

福がーる（※清泉 PBL）

【報告部署】教育・学修支援センター

・福がーるは、福島県いわき市田人町（たびとまち）の地域住民、地域おこし協力隊、田人支所と連携して、同地域での地域おこし活動を実施している。今年度は 6 月に清泉カフェと連携し地域で栽培されたいちごを使用したコラボスイーツの販売、11 月に清泉祭で地域特産の和菓子やジャムの販売等を行った。10 月に福島県いわき市田人支所を訪れ、地域の課題について支所職員や地域住民と情報交換を実施した。

瀬戸内カレッジ（※清泉 PBL）

【報告部署】教育・学修支援センター

・瀬戸内カレッジは、JR 西日本・自治体・大学が連携し、大学生が地元の方々との交流を通じて様々な体験を行い、瀬戸内エリアの魅力を発見・情報発信する産官学連携プログラムである。6 大学 7 チームが参加し「ならではの魅力を発掘」というカレッジテーマに基づいて発表を行った。本学は広島県竹原市と連携し「町並み保存地区に若者が来ていない」という市からの観光課題に対して「えんで紡ぐ#竹原物語」というテーマで観光課題解決のアイデアを提案した。

アクセンチュア株式会社と連携した「インクルージョン&ダイバーシティ学習プログラム」を実施

【指導学科】地球市民学科

・2 年次必修授業「グループプロジェクト I」の授業で、（アクセンチュア株式会社より「インクルージョン&ダイバーシティ」へ注目が高まる背景やその構成要素、同社の具体的な取り組み事例について講義を受けその上で「インクルージョン&ダイバーシティ」に関する 4 つのテーマに関して個人や企業が取るべきアクションを提言するという課題に取り組んだ。

（参考）地球市民学科の授業でアクセンチュア株式会社と連携した「グループ・プロジェクト」を実施（2021.07.06）

（参考）地球市民学科の授業でアクセンチュア株式会社と連携した「グループ・プロジェクト」を実施（2022.12.21）

（参考）地球市民学科の授業でアクセンチュア株式会社と連携した「グループ・プロジェクト」を実施（2023.07.19）

たんぱく質の重要性を伝えるメニューを開発、カフェでも提供

【指導教員】安斎徹教授

・ニッポンハムグループの関東日本フード株式会社（しながわ CSR 推進協議会の会員企業）からたんぱく質の重要性に関する講義を受け、同社と連携しながらたんぱく質の重要性を広く伝える施策を検討し、清泉女子大学の学食メニューを開発した。

また、この「たんぱく質プロジェクト」の一環として関東日本フードと大崎の CAFE&HALL ours（カフェアンドホール アワーズ）」と協議しながら開発したメニューを同カフェで提供した。

「つくば魅力発信プロジェクト」でホテル日航つくばと連携

【指導教員】[安齋徹教授](#)

・ホテル日航つくばの若手スタッフからヒアリングしたお勧めのスポットやお店を実際に訪問取材し、その魅力を伝えるゲスト用観光ツールを作成した。

(参考) [ホテル日航つくばに「つくば旅プロジェクト」の企画を提案](#) (2023.08.21)

(参考) [ホテル日航つくばに「つくば SDGs ツアー」の企画を提案](#) (2022.09.12)

博報堂キャリアジョ研プラスにアンコンシャスバイアスに関するメディア企画を発表

【指導教員】[安齋徹教授](#)

・「女性の幸せを起点に、すべての人が生きやすい“ニュートラルな社会”づくり」をビジョンに掲げて活動する、博報堂および博報堂DYメディアパートナーズのスタッフを中心とした社内プロジェクト、博報堂キャリアジョ研プラスにて、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に関するメディア企画を発表した。

(参考) [地球市民学科の安齋ゼミが博報堂キャリアジョ研と女子大生の世代論を探求](#) (2021.01.27)

(参考) [地球市民学科の安齋ゼミが博報堂キャリアジョ研と女子大生の SNS 実態調査を実施](#) (2022.01.11)

(参考) [地球市民学科の安齋ゼミが博報堂キャリアジョ研プラスにメディア企画を提案](#) (2023.11.13)

学生が品川区産学官連携フォーラムに登壇

【指導教員】[安齋徹教授](#)

・品川区主催の産学官連携フォーラム「ともに創る 自分らしくミライを実現する都市～世代をこえたリーダーたちと考える未来都市しながわ～」内の「品川区内の学校による SDGs・アントレプレナー教育の取り組み」コーナーにて学生が登壇した。

以 上